

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約200kmが開通しています。

- 今回開通区間の概要

路 線 名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開 通 区 間：久喜白岡JCT(埼玉県久喜市下早見)^{くき しもはやみ}～境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)^{さしまぐん さかいまち にしいずみだ}

○開 通 日：平成27年3月29日（日）15時

○延 長：19.6km

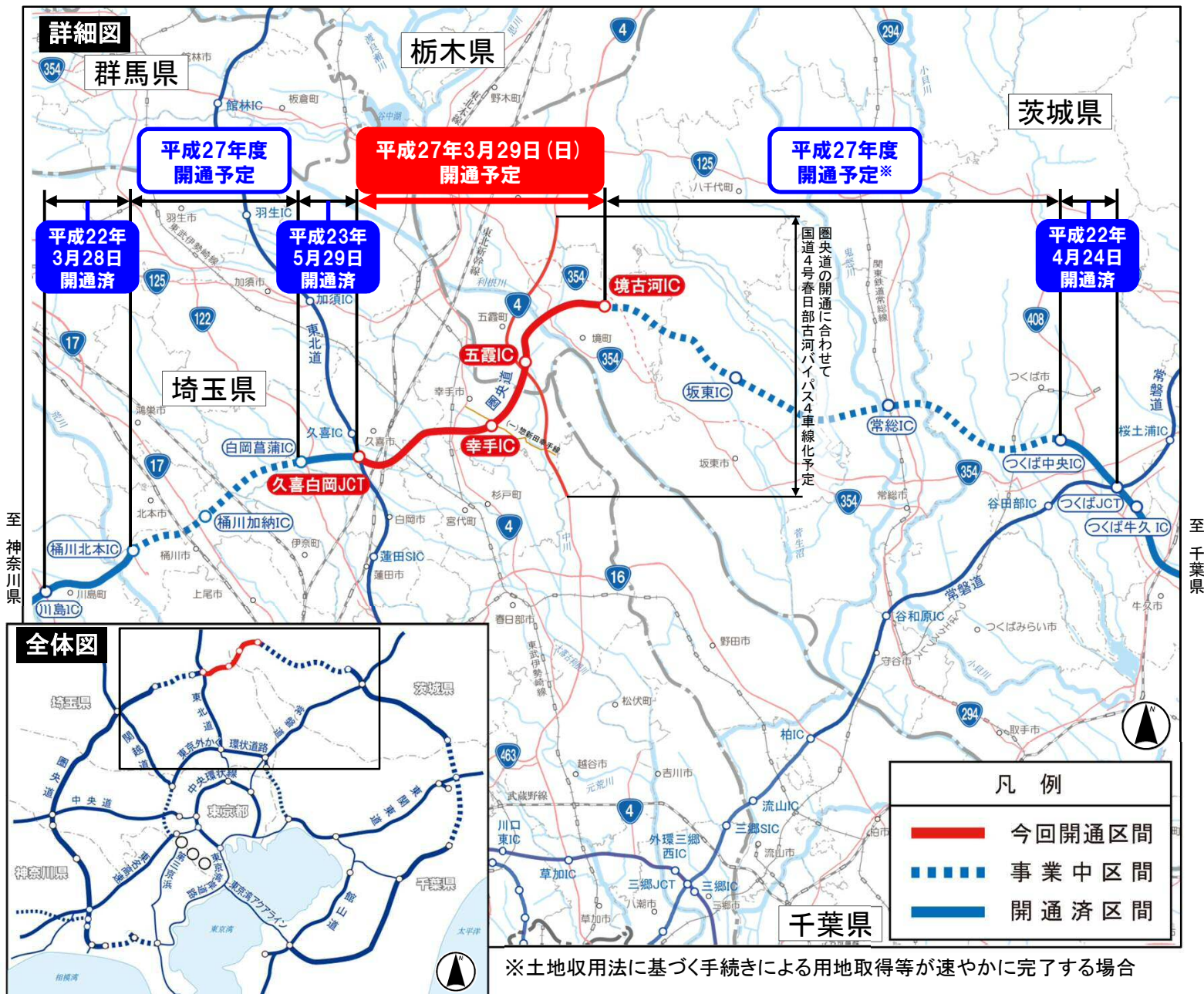
○車 線 数：暫定2車線

○開 通 IC：幸手IC、五霞IC、境古河IC

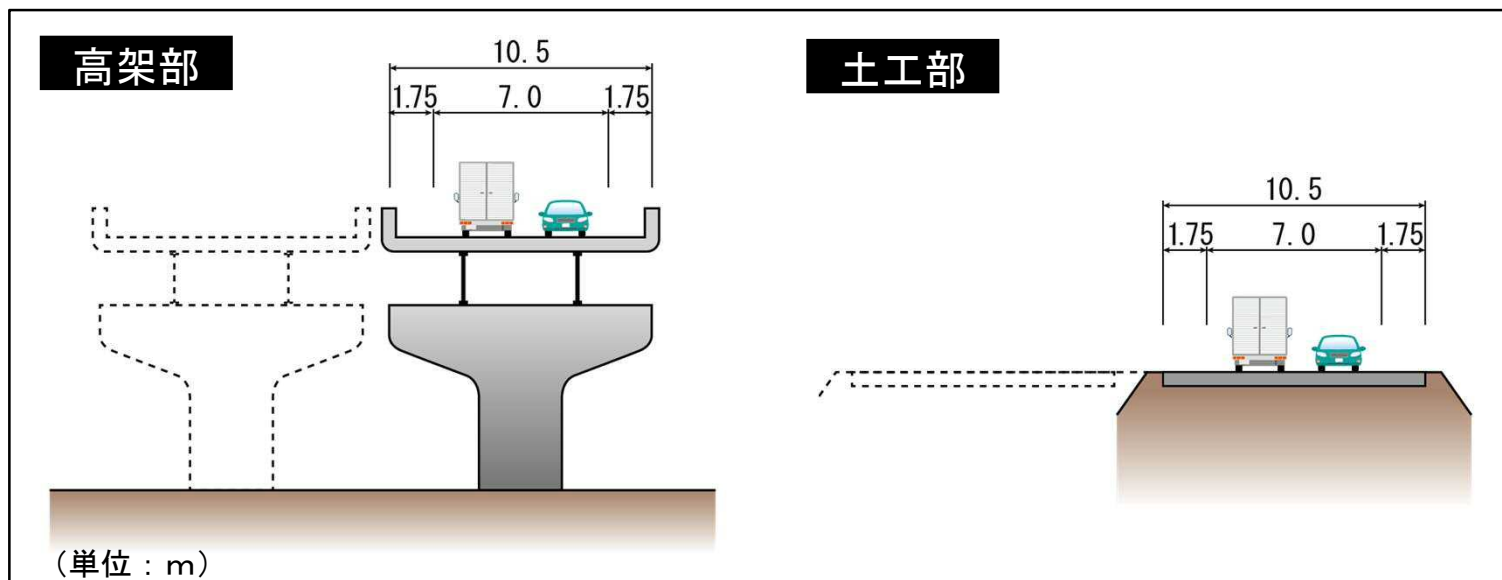
○アクセス道路：(一)惣新田幸手線^{そうしんでん さってせん}、新4号バイパス※、国道354号バイパス

※圏央道の開通に合わせ4車線化整備中

■今回開通区間の位置図



■今回開通区間の標準断面図



■今回開通区間の状況



【インターチェンジの状況】

さかいこ が いばらきけん さしまぐん さかいまちにしずみだ
境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)



(平成27年1月撮影)

さって さいたまけん さって しひら す か
幸手IC(埼玉県幸手市平須賀)



(平成27年1月撮影)

こ か いばらきけん さしまぐん こ か まちこうしゅ
五霞IC(茨城県猿島郡五霞町幸主)



(平成27年1月撮影)